

中だるみ注意! 気合いを入れなおせ

MPS生諸君、君達はまだ夏休みボケから立ち直っていないのだろうか？この勉強の秋になぜか、やる気のない生徒がいる。

特に中三生の中には、受験だというのに、宿題の多い日は欠席をし、単語テストの日には遅刻をしてくる生徒もいる。中二生も、ついにはB班

い。 とC班を同等分けせざるを得ない状態である。これでは頑張つている生徒と差がつくばかりか、行く高校さえなくなつてしまふことをもう一度考えてほしい。

高校生もはやく危機感を感じて、準備をしていかなければば、間違ひなく「合格」はな

精神集中と執着心が必要であるのと同じように、満足のいく結果を求めるなら集中心と織細さを持ち合わせましょう。遊ぶ時は人生悔いなしと思ふ程楽しく、勉強となればガリ勉の鬼となる。そんなメリハリのある生活、送つてみませんか？

うな学力をつけることに全力を尽くさなければならない。ここで注意して考えなければならないのは「高校」という存在の意味である。大学に行こうとするものには準備の場であり、部活に燃えるものもいるだろうし、何か技術を得る場にしたいものもいるだろう。大事なことは、自分自身

に辛い。しかし、真剣に取り組んで、かつ継続できるなら東京六大学にも太刀打ち出来るのはずだ。（但し英語に関してだけである。）この話を信じて、「あせらず、たゆまず、おこたらず」秋の夜を勉強して過ごすのもよからう。

普段から予備校に通う高校生が増えているという話を聞いた。夏期、冬季講習には今まで通う生徒は多かったが、このようになつたのは最近になつてからだそうである。

しかし、これに反対するわけではないが、予備校に通つて本当にプラスになつている生徒は少ないようだ。予備校といえば高い授業料と長い通学時間はつき物であり、それに見合う知識なり経験を得るには相当の努力が必要であると高校生達はわかっていないようだ。確かに予備校はテレビにもでてくるような有名講師を揃え、設備や情報量も素晴らしい。そのうえ都会の高校生や目の色を変えて勉強する浪人生と同じ授業を受けければ多くの刺激

りでいるのか、長い通学時間で疲れてしまうのか、家では全くその予習、復習さえしないのである。これもまたお金と時間の浪費である。

すでに大学受験というのは中学の勉強とは違い、社会の暗記や英単語の莫大な量を考えれば、講師が生徒の頭の中

御意見番

にそれらをインプットさせる。ことなどできないのである。頭の中に叩き込むのは自分にしかできない。講師はほんのささいなアドバイスをしてくれてているだけである。こんな基本的で当たり前の事を忘れてはいけないだろうか？ 前に述べたように、予備校に通う事に反対はしていない。むしろ生徒に受験に對しての高い意識があつて最大限に利用できるならば賛成である。私は君達の意識が予備校を有効に利用できる状態に達した時、行く決断をするべきであると思う。（これは私の高校生活を振り返っての反省でもある。）

際入学した時にダラダラとした毎日を三年間送るような無駄なことはしてはならない、ということである。あと六ヶ月間、各自でじっくり考えてもらいたい。

現役中学生の声
受験ということを忘れて夏休み中の中のプランクを取り返すために一生懸命に勉強しなくてはいけません。

特に私は、数学がなぜだかわからぬほど悪いのです。(三宅先生、南部先生ゴメンナサイ。)

だから、数学を頑張りたいと思います。今までわたしは、わからないところがあると、そのままにしておき、人にわからない所を聞こうとしたかったのです。これからは、わからない所は先生にサービス聞いて少しでも多くのことを理解できるようになります。

御意見番

ではなかったろうか？
前に述べたように、予備校に通う事に反対はしていな
い。むしろ生徒に受験に対し
ての高い意識があつて最大限
に利用できるならば賛成であ
る。私は君達の意識が予備校
を有効に利用できる状態に達
した時、行く決断をするべき
であると思う。（これは私の
高校生活を振り返っての反省
でもある。）

酷暑の夏も遠ざかり、今年もついに十月に入りした。高校生達は社会や理科などの選択科目が絶対に仕上がるないと慌て始め、受験生なら誰もが不安を感じる時期である。

これらの不安は人の子である以上、ある程度は仕方のないことであろう。しかし、たとえ一つでも周りの誰にも負けないような、得意教科があればどうだろう。精神的にもつと楽になるはずである。

（三宅先生、南部先生ゴメンナサイ。）
だから、数学を頑張りたい
と思います。今までわたし
は、わからないところがある
と、そのままにしておき、人
にわからない所を聞こうとし
なかつたのです。これから
は、わからない所は先生にペ
シバシ聞いて少しでも多くの
ことを理解できるようにして
いきたいです。
大木 望

卷之二

No. 181
一部 60円

スタッフフルームから
長い夏休みが終わり二学期
に突入し一ヶ月が経ちました
が中学三年生の高校受験生諸君はいかがお過ごしですか?
二学期は体育祭、文化祭と学校行事目白押しの時期です。

中学生諸君へ

中学生三年生は部活も終わ
り、運動会、文化祭が終われ
ば、大きな行事はもう残つて
ないだろうと思う。ここであ
と約六カ月しか残つていない
中学生生活がいかに重要なもの
であることをお詫びする。

そうとはわかつていても、得意教科を作るなんて難しいと思う生徒もいることだろう。そこで、私が高校に入学した当時の三宅先生の話の一部を紹介したいと思う。

一、塾の英語の宿題を「なす

いよいよ高校三年生達は、大学受験というビッグイベントにただひたすら、脇目も振らず突き進まなければならなくなつた。それしかない。それでなくつてはいけない。それに比べて、高校一、二年生諸君の中には、まだ受験一本に絞り込んでいない中途半端な状態の学生もいることだろう。中学校生活とそれほど変わらない生活をのんきに送っていることだろう。高校生時代は青春の入り口で、いろんな物事に興味を示すのは、しようがない事なのかもしれない。しかし大学受験はそんなに甘いものではない。都合つ子は生まれたときから受験勉強を強いられている。そんな人間達との競争である。

二、三年は頑張らなくては勝負にならない。そこで今回は（大学受験に恋人は必要か？）と題して、受験を考える君達の永遠の悩みについて、卒業生、現役高校生達の話を聞いてみることにした。

いやー難しいですね。自分にはまだ経験のないことだし。まあ、この問題は人それぞれじゃないかな。特に男と女とでは多分違うと思う。女の場合は、「やーん、あの人と同じ大学に入りたい。」てな感じで普段の何倍ものパワーを勉強にそそいじやつたりなんかして。女の情は恐ろ

實驗室
必見

しい。その点男は弱いんで
すよ。もう数学やつてても頭
の中は、邪念ばっかり。
「あー、あの時の**は良
かつたな」とか「今度こそ*
*だ」とかね。

今年 某大学へ行つた知人は「受験の時期に女にからむけてるようじや、もう終わりさ。」とほざいてました。キビシイお言葉ですね。案外、勉強と部活より、勉強と恋の両立の方が難しいかも。でも僕は考える。(やつと結論)ただでさえ不安な気持ちが募る受験、好きな人が大事で一緒に居たくても、やっぱりめり張りのある気持ちで付きあわなくちゃ。特に男子!!自分だけ落つこちて、彼女が他の男にとられたら、それこそシャレになんないぞ。

す受験を頑張って。それで受かつたら、いろいろな楽しいイベントが、あなたを待つてゐるわ。そこで愛の告白をするのもよし、何でもアリよ。とにかく、今のあなたがしなければいけないことは、自分の人生を自分の力で切り開くことよ。まあ、色々あるけど、寂しくなつたら、楽しい大学生活を想像して、がんばつてねん。

天使のお姉さん

結論から言うと、そんなの
わかんないということ。もし
恋人が自分より頭が良い人
だったら、その人と同じキヤ
ンパスでもう一度楽しみたい
なんて思うかもしれない。そ
うしたら勉強するかもしれない
い。でも自分より頭が良くな
かつたら、バカになる一方だ
し、別れ話なんてでた時に
は、もう泣き止んで手こ

なくなる。だからはつきりYES・NOとは言い切れない。相手によると思う。でもやつぱり高校時代は、恋人の一人ぐらいはいてenjoyできたらいいなあ。勉強、勉強で人生が終わっちゃつたらすごく悲しい。やつぱり青春はたのしむものだ。相手によく選択できたら勉強もきっとうまくいくはず。なんて考え

まあ人それぞれ考え方があると思うけど、自分が納得のいく結果ができるまで一生懸命頑張りなさい。私はあなた達の成功する姿を待ち望んでいますよ。本当に頑張ってちょうだい。私みたいな豪胆な性格でも暗く落ち込むこともあるわ。だからもしそうなった時は、いつも呼んでちょうだい。大いに役に立つとおもうけど・・・。

しようがないわねー。愛のコメンテーターがばつちり意見を述べてあげるから最後までちゃんと読みなさいよ。

まあねー、好きな人は誰でいると思うけど、ちょっと考えて?今あなたにとつて大切なのはどつち?好きな人と答えたあなた、かなり相手に燃えてるのね。でもね、大切だとは思うけど、受験は今その時だけなのよ。好きな人はこれからいくらでもできるし、まだあなた達があせる必要はないのよ。それに好きな人がいるのも大きいによろしいと思うわ。ただそれが受験の妨げになるかどうかなんて結局自分次第でしょ。やる気があればそんなのは関係ないわ。好きな人に夢中になりすぎて、受験に失敗しても誰のせいでもない。それはあなたのせいなのよ。

お久しぶり
伊藤先生参上

結論から言つてしまえば、本人次第であると思う。大学受験というものが自分にとつてどんな意味を持つのか、今

結論から言つてしまえば、次第である。」

人間第一であると思う。大学教育というものが自分にとつてこんな意味を持つのか。今

一九四〇年九月

付き合っている相手が自分とつてどんな存在であるのか考えてみると、格好いいことを言つてしまつたが、本当にそう思う。受験勉強においては集中力がポイントになつてくる。希望する大学に合格するには相当の量の知識が必要になつくる。時間が当然必要になつてくる。勉強以外のこととのかけじめをきちんとつけられるかどうか。自分の受験経験から判断すると、このことが合否の鍵を握っていると思われる。今の自分にとって何が必要か、何をしなければならないのか、順位をつけてみて生活のリズムというか、時間の配分を自分流に考え出してみる。やつてみる価値はあると思う。

本題から少しはずれてしまつたが、frankily speaking（高校生だつたら当然わかるよな？）私は経験のないことなので、恋人のいる場合の受験勉強の仕方についてや、いる場合の利点等を書くことはできない。ただひとつ言えることは、いるからといって必ず受験に失敗するわけではないし、いなかからといって成功するわけでもないということだ。一番最初に書いたように無責任かもしれないが（今回のような内容の記事を私に依頼するN先生ほど無責任ではないと思う）。結論を出すことが大の苦手である私なので、このへんで勘弁してもらいたい。ともかくにも、受験生の皆さん、頑張つてください。

塾長からのメッセージ

大学受験生と五つの蜜と罠

多くの受験生は、いわゆる「学校のお勉強」というものが好きでない。好きでないくせに進学しようとする。だが、高校・大学を目指す。まだ働きたくないからと、とりあえず進学する生徒も少なくない。そう言う私も三十年前はそれに近い生徒であった。そのような生徒はそもそも進学すべきではないと言う意見もあるが、ここでは論じない。ただ、いやしくも受験生である以上、多少の人間性を犠牲にしても仕方のない時期がある事は認識しなければならない。当然のこととして、自己を非人間化しない。少しお慢と努力が要求される。機械的で無機質な受験に対する我慢もせずに勉強ではない受験生に勝てないからである。

MPSを通して、この三十年多くの生徒を観察してきた、勉強に向いている性格といふものがあることに気づいた。いわゆるおとなしい子、世間的にいい子、活動的でない子、若いときから何処どなく悟りきつたような生活をしている子、このようなタイプの子は、勉強することへの抵抗は少なく、強い欲望もなき多くの誘惑に負けることのできる。「学校のお勉強」のできる子にはこのようないタイプの生徒が比較的多い。ここでは受験勉強の是非や効用・弊害は論じない。勉強嫌いな受験生が現状の受験体制の中で、どのような日常生活を送ることが合格への近道であるかを考察する。あれもしたい、これもしたいという誘惑に負けかけている多くの受験生に、過去の先輩諸氏の成功例や失敗例を織り込みながら、こんな心構えで受験生をしたらどうかということを提案する。だから、勉強が好きなとか言う生徒は、この文を読む必要はない。彼ら及び彼女たちにとって、受験勉強をすることが喜びであり、何の我慢もせずに勉強できない受験生に勝てる必要もない。

大人社会にも、仕事が趣味だと言う人がいる。楽しくて仕方がないと言う人がいる。このように言う人に私は首を傾げてしまう。本当は金儲けが趣味で、世間体のためにそなう言つていてるだけではないの世間的にいい子、活動的でない子、若いときから何処どなく悟りきつたような生活をしている子、このようなタイプの子は、勉強することへの抵抗は少なく、強い欲望もなき多くの誘惑に負けることのできる「学校のお勉強」のできる子にはこのようないタイプの生徒が比較的多い。ここでは受験勉強の是非や効用・弊害は論じない。勉強嫌いな受験生が現状の受験体制の中で、どのような日常生活を送ることが合格への近道であるかを考察する。あれもしたい、これもしたいという誘惑に負けかけている多くの受験生に、過去の先輩諸氏の成功例や失敗例を織り込みながら、こんな心構えで受験生をしたらどうかということを提案する。だから、勉強が好きなとか言う生徒は、この文を読む必要はない。彼ら及び彼女たちにとって、受験勉強をすることが喜びであり、何の我慢もせずに勉強できない受験生に勝てる必要もない。

MPSを通して、この三十年多くの生徒を観察してきた、勉強に向いている性格といふものがあることに気づいた。いわゆるおとなしい子、世間的にいい子、活動的でない子、若いときから何処どなく悟りきつたような生活をしている子、このようなタイプの子は、勉強することへの抵抗は少なく、強い欲望もなき多くの誘惑に負けることのできる「学校のお勉強」のできる子にはこのようないタイプの生徒が比較的多い。ここでは受験勉強の是非や効用・弊害は論じない。勉強嫌いな受験生が現状の受験体制の中で、どのような日常生活を送ることが合格への近道であるかを考察する。あれもしたい、これもしたいという誘惑に負けかけている多くの受験生に、過去の先輩諸氏の成功例や失敗例を織り込みながら、こんな心構えで受験生をしたらどうかということを提案する。だから、勉強が好きなとか言う生徒は、この文を読む必要はない。彼ら及び彼女たちにとって、受験勉強をすることが喜びであり、何の我慢もせずに勉強できない受験生に勝てる必要もない。

MPSを通して、この三十年多くの生徒を観察してきた、勉強に向いている性格といふものがあることに気づいた。いわゆるおとなしい子、世間的にいい子、活動的でない子、若いときから何処どなく悟りきつたような生活をしている子、このようなタイプの子は、勉強することへの抵抗は少なく、強い欲望もなき多くの誘惑に負けることのできる「学校のお勉強」のできる子にはこのようないタイプの生徒が比較的多い。ここでは受験勉強の是非や効用・弊害は論じない。勉強嫌いな受験生が現状の受験体制の中で、どのような日常生活を送ることが合格への近道であるかを考察する。あれもしたい、これもしたいという誘惑に負けかけている多くの受験生に、過去の先輩諸氏の成功例や失敗例を織り込みながら、こんな心構えで受験生をしたらどうかということを提案する。だから、勉強が好きなとか言う生徒は、この文を読む必要はない。彼ら及び彼女たちにとって、受験勉強をすることが喜びであり、何の我慢もせずに勉強できない受験生に勝てる必要もない。

MPSを通して、この三十年多くの生徒を観察してきた、勉強に向いている性格といふものがあることに気づいた。いわゆるおとなしい子、世間的にいい子、活動的でない子、若いときから何処どなく悟りきつたような生活をしている子、このようなタイプの子は、勉強することへの抵抗は少なく、強い欲望もなき多くの誘惑に負けることのできる「学校のお勉強」のできる子にはこのようないタイプの生徒が比較的多い。ここでは受験勉強の是非や効用・弊害は論じない。勉強嫌いな受験生が現状の受験体制の中で、どのような日常生活を送ることが合格への近道であるかを考察する。あれもしたい、これもしたいという誘惑に負けかけている多くの受験生に、過去の先輩諸氏の成功例や失敗例を織り込みながら、こんな心構えで受験生をしたらどうかということを提案する。だから、勉強が好きなとか言う生徒は、この文を読む必要はない。彼ら及び彼女たちにとって、受験勉強をすることが喜びであり、何の我慢もせずに勉強できない受験生に勝てる必要もない。

MPSを通して、この三十年多くの生徒を観察してきた、勉強に向いている性格といふものがあることに気づいた。いわゆるおとなしい子、世間的にいい子、活動的でない子、若いときから何処どなく悟りきつたような生活をしている子、このようなタイプの子は、勉強することへの抵抗は少なく、強い欲望もなき多くの誘惑に負けることのできる「学校のお勉強」のできる子にはこのようないタイプの生徒が比較的多い。ここでは受験勉強の是非や効用・弊害は論じない。勉強嫌いな受験生が現状の受験体制の中で、どのような日常生活を送ることが合格への近道であるかを考察する。あれもしたい、これもしたいという誘惑に負けかけている多くの受験生に、過去の先輩諸氏の成功例や失敗例を織り込みながら、こんな心構えで受験生をしたらどうかということを提案する。だから、勉強が好きなとか言う生徒は、この文を読む必要はない。彼ら及び彼女たちにとって、受験勉強をすることが喜びであり、何の我慢もせずに勉強できない受験生に勝てる必要もない。

MPSを通して、この三十年多くの生徒を観察してきた、勉強に向いている性格といふものがあることに気づいた。いわゆるおとなしい子、世間的にいい子、活動的でない子、若いときから何処どなく悟りきつたような生活をしている子、このようなタイプの子は、勉強することへの抵抗は少なく、強い欲望もなき多くの誘惑に負けることのできる「学校のお勉強」のできる子にはこのようないタイプの生徒が比較的多い。ここでは受験勉強の是非や効用・弊害は論じない。勉強嫌いな受験生が現状の受験体制の中で、どのような日常生活を送ることが合格への近道であるかを考察する。あれもしたい、これもしたいという誘惑に負けかけている多くの受験生に、過去の先輩諸氏の成功例や失敗例を織り込みながら、こんな心構えで受験生をしたらどうかということを提案する。だから、勉強が好きなとか言う生徒は、この文を読む必要はない。彼ら及び彼女たちにとって、受験勉強をすることが喜びであり、何の我慢もせずに勉強できない受験生に勝てる必要もない。

最大の敵は自分だ

★部活

部活を熱心にすること自体何の問題もない。本当は自宅学習をする時間もあるようで、身心ともに疲れ、勉強意欲が減退してしまって中、どれだけ自分に厳しくできるかということが問題のようだ。部活をしている分遊ぶ時間を少なくするとか、自分が部活をしているとき、人は一生懸命勉強しているという意識を持つ必要がある。ただ現状では、小田原高校レベルからでは、現役で二流大学（中央・明治・青山）以上の大学に受かることは非常に希である。自分の属する部の雰囲気もかなりの影響を与える。部活一辺倒の至上主義から、文武両道を目指す部までいろいろである。

★恋愛

これは個人の精神的・生理的現象であり、個人差がある。あまり異性に関心のない人間もいれば、何かにつけ異性の目を気にして生きている人間もいる。いずれにしてみても、思春期なのだから、親しい異性を持ちたい年頃ではある。恋愛感情は一種の特異な心理状態とも言えるので、何事にも夢中になるタイプの人間は、めでたく志望校に合格するまで、封印しておいた方が賢明である。特に浪人中に多いが、毎日のように会つてたり、カップルで予備校（学校）や図書館に通つていよいよでは、やくざ同士で、本人達

るようでは、受験よりそちらの方に気持ちがいつてしまつていて、これでは受かるはずがない。失敗例をいくつか耳にしているが、ハマり込んでしまった場合は、ほとんどが挫折という最悪のパターンになつていている。中には、彼氏あるいは彼女がいても志望大学に仲良く合格したというケースもあるが、これは双方が頭も良く、節度ある交際をしていたからであろう。しかし、私はこんなふうにも考える。受験勉強をしながら恋愛もうまくいくという人間は、裏返せば冷めた人間で、大学生になつたり、社会人になつて自由に恋愛できるときには、つまらない相手ではないのかと。結論として、恋愛は受験準備期間中は御所法度にしておいた方が無難ということである。

★友人関係

これは受験期間だけのことではなく、一生の問題である。数人の親しい友人と幅広い人間関係は自分の人生を豊かにしてくれる。良い友を持つことは一生の宝であると言ふ人もいる。良い友といつて受験生にも息抜きはある。仕事にも休日はある。当然受験生にも息抜きはある。かかるべきで、一週間に一日数時間ぐらいい自分を解放する時間は必要である。ボケツーと好きな音楽を聞くもよし、プラプラ町を歩くもよし、軽い運動で汗を流すもよい。ストレス解消になるのなら、そのままのままフリータとしてコ

はお互いを良い友達と思つていただろうし、どんなに暗いオタッキーにも一人か二人の友人はいる。その人その人に波長の合つた、感性の似た、価値観の近い人間はいるものだ。「友人とは話したい人（奴）」というのが私の基本的概念であるが、知り合い始めた頃や浅い部分での付き合いは楽しみ合うのが友人である。否、そのような関係は仲間と呼んだ方が適切かもしれない。受験生にとつてこの仲間が危険な因子になる。多くの楽しい誘惑がある。かろくじて踏みこらえて努力していく生徒には、この上なく辛い葛藤が始まる。だから、本当に親しい友人を除いて、受験生をしている間は、なるべく同じ目的を持つ仲間といふことを勧める。就職、専門学校、あるいは無試験同様で入学できる大学でいいと言つていい人間とは、取り組むべき課題の質と量が違う。高校生活を楽しんでいる仲間と親しくなり過ぎることは、それだけ自分を苦しめることになる。それから、仲間とつるんでも、それは個人の価値観で判断されるもので、世間で言う真面目な人、四角四面に生きている人が必ずしも良い友だつことは一生の宝であると言ふ。

★バイト

バイトをすること自体より、まとまつたお金が自由になる弊害のが大きい。遊びの行動半径も広がり、欲望も満たされ、受験勉強をしているよりも、それが個人の価値観で判断されるもので、世間で言う真面目な人、四角四面に生きている人が必ずしも良い友だつことは一生の宝であると言ふ。



「日本では、一年が一生を決めることがある。」

今月号は、ようやく涼しくなり始めスポーツの秋、勉強の秋を満喫しようとして一生懸命の南部でした。今回は三宅先生の南西部でした。高校時代の参考になればと思います。勇気を出してこのような記事を載せたのですが、いかがでしたか？ 来月号は、内野先生です。乞うご期待！

受験勉強を語るとき、話題によく出てくる五つの項目について述べてきたが、これ以外にもいくつかの心に留めておくべきことがある。受験の情報収集、受験科目の選択と決定、学校以外の独自の勉強の確立などである。最後に総括的な意見を述べるなら、「己を知る」ということだ。自分の性格と能力を把握し、時間の使い方が上手になることだ。これが意見をまとめた数人のMPS卒業生との結論である。「蜜のあるところには罠がある。」これが意志の弱い人間の座右の銘である。